

保護者の信頼を得るには見ていただくことが一番です。最近の学校批判は、公開によってなくなると思っています。そのために『いつでも参観日』をお知らせしています。

- ◇「元気が出る学級づくり」と称して、学級づくりのエキスを、8回にわたってお送りしてきました。これらをまとめてみて、子どもたちは一人ひとりがそれぞれによさに向かおうという思いをもっているということを改めて感じました。その思いを学級づくりに生かしていくために、子どもたちを丸ごと認めること、その中から子どもたちのよさを見つけること、そして生かすこと、さらに、みんなでいることによさを味わわせることなどが大切なのではないかと思っています。そのための大きな壁は、私たち教師の思いこみにあるような気もしています。
- これまで取り組んできたことを書き並べてみましたが、この資料をつくりながら、「元気が出る学級づくり」というのは、今まさに考えなければならぬ問題だと感じています。これをきっかけに「元気が出る学級づくり」を考えてみようという先生方が増えてくれればいいなと思っています。

2 山口学級活動ネットワーク「冬の学習会」2010 感想から その2

去る1月10日、山口県セミナーパークにて、恒例の冬の学習会を実施しました。今回はのべ40名の参加者があり、特別活動の「不易と流行」に焦点を当てた学習会でした。参加者の皆さんからの感想を紹介します。

- ◇調査官の話で熱くなりました。自らの立場、役割を腑に落とすことができました。「やります」「やらねばなりません」がんばります。
- ◇基調提案で、不易なものや流行なものをキーワードでたどることができて大変勉強になった。
- 実践提案から、特活の魅力や受容性を改めて感じた。もっと勉強して、実践を積み重ねていかなければならないと思った。
- ワークショップでは実際の諸問題を出し合い、いろんな視点からのアイデアを全員で共有でき、参考になった。ねらいをもち、子どもを育てることが大切だと感じた。調査官の話では頭をガツンとなぐられた思いです。大変刺激をうけ、感動しました。自分の足下を見つめ直し、子どもの姿を変えていきたいです。
- ◇新学習指導要領のもとで特別活動についての課題や求められていることがよく分かりました。不易と流行という視点で考えたことがなかったので、とても参考になりました。
- ワークショップでは、共通の話題について楽しみながら勉強させていただきました。

まとめる課題を提示していただけると助かります。フリーだと、話がちらばりすぎるかなと思いました。

調査官の話を聞いて、自分は何もできていなかったと痛感しました。特別活動について微力ですが、自分のできるところから実践していきたいです。小石小の子どもたちの事実、感動しました。

◇今回のテーマが具体化されており、全体の筋がきちんとある学習会をつくられたなと感じました。

全国の実践家のいろいろな実践を聞けて、興味深かったです。また、ワークショップでは、いろいろな先生方から直接お話が伺えたのがよかったです。

調査官の話の中で使われた映像、お借りできないのでしょうか。

◇学習指導要領の改訂について勉強でき、とてもよかったです。3人の実践提案はとも勉強になりました。

ワークショップでは、集会活動に参加させてもらいましたが、みんなとても勉強されていて、大変得るものが大きかったです。

調査官の話は、いつもの講演と少し違い、またよいお土産をもらいました。すごくよかったです。

◇ワークショップで、話し合い活動に参加させていただきました。ど初心者の方も話し合いの中に参加できるあたたかい雰囲気、内容はもちろん、学び多き時間になりました。

杉田先生から子どもの姿で語る！ 教師が夢をもつことも大切さを強く感じました。とても深く心に刻まれたお話でした。

◇ワークショップで他県から参加された先生など、いろいろな先生とお話しできてとてもよかったです。

調査官の話を聞いて、今、自分が受け持っている子どもたちを、どんな子どもにしたいか、その姿を思い浮かべながら特活の指導をしていきたいと思いました。

◇課題なしのワークショップ、とてもよかったです。若い先生方は、とても勉強になられたようです。後の発表はなくてもよかったです。

◇大学を卒業して以来、学習指導要領の特別活動を読んでいなかった気がします。今日、新たに知ったこと、確認できたことがあり、うれしかったです。

実践者の方の話を聞いて、もっとやってみたいと感じました。ワークショップでは自分の悩みを解決できそうで、3学期に生かそうと思いました。

調査官の話で、特別活動についての歴史や考え方がよく分かりました。

◆次号の予告◆◇◆

第87号は、2月中旬ごろ発行予定です。

次号も、引き続き「元気が出る学級づくり」についてお知らせします。

◆山口学級活動ネットワーク メールマガジンの登録について◆◇◆

現在の購読者は264名と急増しました。これまで以上に内容を充実させていく必要を感じています。もっともっとメルマガ仲間が増えるといいなと思っています。お知り合いの方にこのメルマガを紹介してください。登録については、山口学級活動ネットワークのホームページをご参照ください。

url: <http://www.yamakoshu.org/gakkatu-net/>

◆メールリングリスト「学級づくり夢工房」◆◇◆

ネットワークでは、新たにメールリングリスト「学級づくり夢工房」を始めました。これは、メールを使って学級づくりに関する情報を気軽に交換し、皆さんがお持ちの実践を共有化しようというものです。

方法は簡単！ 私からメールリングリストの招待状をお送りしますので、それに登録していただければ終了です。

参加を希望される場合には、下記アドレスまで「メールリングリスト希望」と書かれて送信してください。

ともに夢を追いかけましょう！

sugi-net@jewel.ocn.ne.jp

◆実践投稿のお願い◆◇◆

読者のみなさん、みなさんが取り組まれている情報を送ってください。学級づくりの実践を広げ、共有していきましょう。

どんな小さな事でもけっこうです。情報をお待ちしています。

山口学級活動ネットワーク メールマガジン

☆ご感想・ご意見は

sugi-net@c-able.ne.jp または sugi-net@jewel.ocn.ne.jpまで

☆編集・発行 山口学級活動ネットワーク メールマガジン編集部

梶田崇晴（下関市立名池小）

津村元文（美祢市立伊佐小）

吉田哲朗（山口大学附属山口小）

西田智行（下関市立垢田小）

福永博一（萩市立椿西小）